

[[陸上競技] 出雲全日本大学選抜駅伝

田倍が区間5位と健闘 1、2年次主体 レース経験積む

10月8日、悪天候の中、島根県出雲市で出雲全日本大学選抜駅伝が開催された。出雲大社正面鳥居前をスタートし、6区間44キロを走り、出雲ドームがゴール。平成8年以来の出場を果たした専大は21チーム中14位に終わった。

出場メンバーは▽1区＝座間紅祢(商4・藤沢翔陵高)▽2区＝田中貴大(商1・土浦日大高)▽3区＝五ヶ谷宏司(経営2・専大松戸高)▽4区＝佐藤優気(商1・黒沢尻工高)▽5区＝田倍正貴(経済2・埼玉栄高)▽6区＝井上直紀(商2・報徳学園高)の6人。

3、4年次生からは座間一人と、下級生主体で臨んだ今大会。専大最高の区間5位と大健闘した田倍は「アップダウンでの切り替えが上手くできず、一度抜いたところにかわされたのが反省点。箱根に生かしたい」と前向きに語った。

加藤覚監督は「1区で17位と出遅れ、厳しいレース展開になった。ただ初レースとなった4区・佐藤が区間9位、5区・田倍が同5位と健闘してくれた事が収穫であった。今回の失敗を箱根へ生かし、再びシード権獲得を狙いたい」と語った。

(松本 かおり・文2)

[剣道] 関東学生優勝大会

昨年に続き3位を確保 4年連続全日本学生の出場権

関東学生剣道優勝大会が9月16日、日本武道館で行われた。男子が昨年に続き3位の成績を収め、4年連続となる全日本学生剣道優勝大会(10月28日、同会場)の出場

権を獲得した。

今大会は92校によるトーナメントで上位22校に全日本学生の出場権が与えられる。専大は鳶津貴之(経済2・安房高)らの活躍で順調に勝ち進み、準々決勝で筑波大を12—5で下したが、準決勝で法大に敗退した。



在本悠作・男子主将(法4・西大寺高)は「チームとしてうまくまとまることができ、入賞を果たせた。準決勝で集中が途切れてしまったのが今後の課題」と振り返った。全日本学生での目標を聞くと迷わず「優勝」と答える。4年次生にとっては最後の大会。関東での経験を糧に、笑顔の表彰式になることを願う。

▲3位入賞のメンバー

(松本 かおり・文2)

[ゴルフ] 関東大学秋季対抗戦

男女とも信夫杯出場へ 女子3位、男子は4位

ゴルフの関東女子大学秋季対抗戦が9月19、20の両日、栃木県那須ゴルフ倶楽部で行われ、専大は3位の好成績を収めた。この結果、上位4校に与えられる信夫杯争奪日本女子大学対抗戦(以下、信夫杯=10月25、26日、千葉カントリークラブ)の出場権を得た。

初日を3位で折り返すと、4位の東北福祉大に1打縮められたものの順位を維持。片野由布主将(法4・堀越高)は「チームワークが良いのが特徴です。信夫杯は今年最後の団体戦なので優勝を狙いたい」と語った。

男子も関東大学秋季対抗戦(9月26、27日、埼玉県こだまゴルフクラブ)で4位となり、信夫杯の出場権を得た。好スコアで回った宮里政志(文2・鹿島学園高)は「上位校とは差があるのでコース戦略を考えて臨みたい。昨年は出場できなかったが、今年は優勝を狙います」と話した。

(新海 城生・経済3)

[ゴルフ] 朝日杯関東地区予選会

男女5人が通過 木村はシードで出場へ

朝日杯争奪日本女子学生ゴルフ選手権(以下、朝日杯=10月24~28日、千葉カントリークラブ)の関東地区予選会が9月28日、サザンヤードカントリークラブで行われ、小川陽子(経済1・香川西高)が3位入賞を果たし、朝日杯の切符を手にした。6位の横須賀直美(文4・駒場学園高)、10位の片野主将、20位の小川真実(文3・堀越高)と、昨年の朝日杯で10位となりシード権を得ていた木村麻希(経済2・明德義塾高)の計5人が「大学日本一」を目指し、朝日杯に出場する。

また、男子の朝日杯関東地区予選会では、齊藤潤(商3・岐阜城北高)が8位で、出場権を得た。

[テニス] 関東大学

女子は4位に 男子の1部復帰ならず

関東大学テニスリーグ戦が9月14日から26日まで、有明テニスの森公園屋外コートで行われ、女子は日大、東洋英和女学院大に完勝したものの、2勝3敗の4位に終わった。3—4で落とされた2試合が響き、上位2校に与えられる全日本学生王座決定戦の出場権を逃した。金子沙織主将(文4・新潟青陵高)は「あと一歩及ばなかった。プレッシャーもあったと思うが勝ちきれなかった」と悔しさをにじませた。

男子は2部リーグを4勝1敗の2位で終え、日大との入れ替え戦に臨んだが力及ばず、1部復帰はならなかった。

[フェンシング] 関東学生新人戦

フルーツ団体は女子3位、男子4位

関東学生フェンシング新人戦が9月27、28の両日、駒沢屋内球技場で行われ、フルーツ団体で女子が3位、男子が4位となった。

個人では女子フルーツで小野淳美(経済1・宇都宮中央女子高)が6位、庄子美樹(文1・仙台南高)がベスト8進出を果たすなど、今後を期待させる大会となった。

「周りの先輩たちのアドバイスや励ましが、気持ちを楽にしてくれた」(小野)、「予選から集中できたことが結果につながった」(庄子)とそれぞれ大会を振り返った。

(馬場 雄也・ネット情報1)

[バドミントン] 関東大学秋季リーグ

競り負けて5位

関東大学バドミントン秋季リーグ戦が9月17日から23日まで、日体大米本記念体育館で行われた。春季準優勝の女子は、青山学院大(今季優勝)、早稲田大(同2位)、に2—3で敗れるなど、上位校との競り合いを落とし、1勝4敗の5位に終わった。高橋沙織主務(経営3・埼玉栄高)は「惜しい試合ばかりで、あと一歩踏み出すことができず、負けてしまうことが多かった。上位を目指し、さらに練習に励んでいきたい」と話した。

第35回森口メモリアルゴルフ大会

野田英勝さんが優勝

「第35回森口メモリアルゴルフ大会」が9月20日、川崎国際生田緑地ゴルフ場で行われた。今年は大学関係者、体育会卒業生ら86人が参加。

野田英勝さん(昭62経営)が熱戦を制し、優勝の栄冠を勝ち取った。

[ヨット] 関東学生女子

創部初の「全日本学生女子」出場

関東学生女子ヨット秋季選手権が9月15、16の両日、神奈川県葉山町の森戸海岸で行われた。近藤満帆（文4・富岡高）、湯川愛子（文1・海南高）組が13位となり、女子としては創部以来初の全日本学生女子選手権（9月22～24日、葉山町葉山新港）の出場権を獲得。

初出場を果たした全日本学生女子では25位と、上位進出はならなかったものの強豪校相手に積極的なレースを展開。5月に創部40周年を迎えたヨット部のさらなる飛躍を予感させた。

リーグ戦途中経過

※10月14日現在

◆アイスホッケー部

▽関東大学リーグ戦=1勝3敗

◆アメリカンフットボール部

▽関東大学リーグ戦(Aブロック)=0勝4敗

◆準硬式野球部

▽東都大学秋季リーグ戦=5勝4敗・勝ち点1

◆サッカー部

▽関東大学リーグ戦(2部)=11勝3敗2分=3位

◆バスケットボール部

【男子】▽関東大学リーグ戦=5勝7敗

【女子】▽関東女子学生リーグ戦=3勝9敗

◆ラグビー部

▽関東大学リーグ戦(2部)=3勝0敗

◆野球部

▽東都大学秋季リーグ戦(2部)=2勝6敗・勝ち点1

◆バレーボール部

▽秋季関東大学リーグ戦(2部、9月15日～10月14日=専大ほか)5勝5敗=3位

記録コーナー

◆バレーボール部

▽秋季関東大学リーグ戦(2部、9月15日～10月14日＝専大ほか)5勝5敗＝3位

◆フェンシング部

▽牧杯ジュニア選手権兼ジュニア世界選手権選考会(9月22、23日＝京都府大山崎町立体育館)森美奈子＝3位、領家葵(文1・美萩野女子高)＝7位

◆レスリング部

▽全日本学生王座決定戦(9月21日＝駒沢体育館)フリースタイル団体戦＝ベスト8